

Z LIGHT

Z-288

目にやさしい高性能
インバーター搭載

研ぎすまされた、ヤマダの新しい技術が、すみずみにまで生きています。

■ご使用方法■

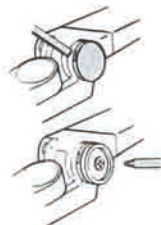
- ① パッケージから各部品を静かに取り出します。
- ② クランプ①を机等にしっかりと固定して下さい。
- ③ アーム本体をクランプ①に差し込んで下さい。
- ④ 電源プラグ②をコンセントに差し込みます。
- ⑤ スイッチ③を押すと、点灯します。

■調節方法■

- ① 上・下アームの動きは、図Ⅰのように上・下ジョイントの右側のカバーを、④ドライバー等ではずして、中のネジを④ドライバーで調節して下さい。
- ② シェードの上・下回転の動きは、図Ⅱのように自在器の右側カバーをはずして、中のネジを調節して下さい。
- ③ シェードの左右回転の動きが柔らかくなった時は、図Ⅲのようにシェード下面の斜めの孔へ④ドライバーを差し込んで調節して下さい。



図Ⅰ



図Ⅱ

■ランプ交換■

- ① Z-288は使用ランプが定められています。必ず〈三菱 B・B/バラレル FML27EX〉を使用して下さい。
- ② 図Ⅲのようにランプを斜めにして、ランプの片方をランプホルダーに掛けて下さい。
- ③ 図Ⅲの1の方向にランプを押して、ランプホルダーにしっかりと掛けて下さい。
- ④ 図Ⅲの2の方向にランプを押して、ソケットに固定して下さい。
- ⑤ ランプをはずすときは、逆の順序で行って下さい。(消灯後しばらくの間、ランプは高温ですのでご注意ください)



図Ⅲ

■各部の名称と特長

3. 自在器

摩擦の少ない自在器。これで上下回転を調整できます。

2. スイッチ



1. シェード

アームとのジョイント部を軸として左右最大180°、また同じく上下最大約180°まで動きます。安定器に代るインバーターは、シェードに内蔵されています。インバーターは高周波点灯のため、光出力にバラツキや変化がほとんどなく、目の疲労を招くちらつきを感じません。

4. 上ジョイント

5. アーム

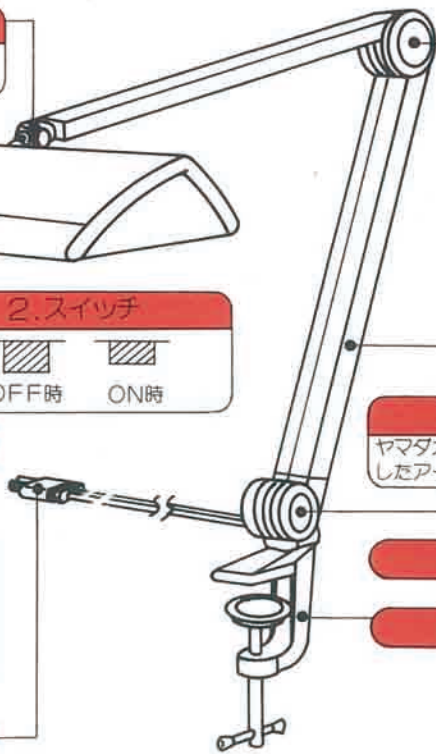
ヤマダオリジナルのパイプを使用したアーム。

6. 下ジョイント

9. クランプ

8. 電源プラグ

機能が新しい。
デザインが新しい。



■ご使用上の注意■

- ① お手入れ・ランプ交換又はランプを取りはずして置く時は、危険のないよう必ずスイッチをOFF(消灯)にし、電源プラグをコンセントからはずして下さい。
- ② シェード部に、布などをかけないで下さい。放熱を妨げ、過熱して危険です。
- ③ ランプのすぐ近くに、布や紙などを長時間置かないで下さい。
- ④ 灯具を必要以上に、テーブル面・照射面に下げないで下さい。
- ⑤ 上向きにお使いになる場合は、シェード内に異物が入らないように注意して下さい。
- ⑥ スイッチはひんぱんに使うところですので、操作に異常を感じたら、早目にチェックして下さい。
- ⑦ 電源コードのプラグはしっかりと入れて下さい。コードは少し余裕をもってご使用下さい。
- ⑧ 点灯中及び消灯直後には、ランプに直に手を触れないようにして下さい。
- ⑨ ご使用後は必ずスイッチを切って下さい。
- ⑩ 器具に殺虫剤をかけないで下さい。
- ⑪ シェードの動き、アームの動きは各部を調節して下さい。必要以上に締めますと破損の原因となりますので、ご注意下さい。
- ⑫ アームには物を吊り下げないで下さい。
- ⑬ 点灯中にランプを取りはずした時には、自動的に回路動作を遮断しますので、再度点灯させる時には、一度スイッチをOFF(消灯)の状態にさせてからランプを入れ、ON(点灯)させて下さい。
- ⑭ 周囲温度は、5~35℃の範囲でご使用下さい。
- ⑮ この器具の近くでラジオを使用されますと、雑音が入る場合がありますので、ご注意ください。
- ⑯ 全国どこでも使用可能——インバーター使用なので、50Hz/60Hz共用です。

■お手入れの方法■

- ① お手入れはきれいな布に石ケン水を浸し、よくしぼってから拭きとって下さい。
 - ② お手入れ後、よく乾いてからご使用下さい。
- ※ 規格及び外観は、改良などの理由により、予告なく変更することがあります。
- ※ 万一、故障などの不備がございましたら、お買い求めの店、または近くの山田照明までご連絡下さい。